平成29年度予算案を審議

前年度に比べ０・３％増

平成29年度一般会計予算については、８人で構成する予算審査特別委員会が2月24日に設置され、3月6日から8日まで、および10日の4日間にわたり審査が行われました。3月21日の本会議において、賛成多数をもって、原案のとおり可決されました。

本会議における一般会計予算に対する各会派等の意見は次のとおりです。

【予算審査特別委員会】

委員長　森田　洋一　　委員　加藤　啓子
副委員長　笠原　久恵　　委員　中村　彰男
委員　野村　誠　　委員　楠山　栄子
委員　石原　修治　　委員　小田桐　仙

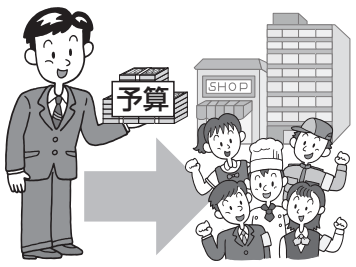
予算審査特別委員会の様子

各会派等からの意見表明

反対　日本共産党

反対する最大の理由は、過大規模校を解消し、身近な地域に小中学校を整備することで一人ひとりを大事にする教育環境を築いてきた本市の歴史に逆行し、過大規模校を容認する市長の政策判断を擁護したからです。その結果、児童一人当たりの体育館及び校庭の面積は、小山小が市内で最も小さく、児童一人当たりの図書冊数は、おおたかの森小でたった9冊と、小学校平均22冊と比較しても深刻です。この元凶は、新設校計画を小学校2校・中学校1校から小学校1校・中学校1校に縮小し、さらに経済性から小中併設や他施設複合など市長の政策判断です。

他にも、保育の待機児、子育て・保健・小児救急の環境悪化、劣化する公共施設は改修計画もなく、不安定低賃金の委託業務拡大など、市長の『多選の弊害』が噴き出しています。借金は史上最高を更新する一方、積立金１５億円は半減させ、職員体制も弱体化させており、抜本改革が必要です。



賛成　流政会

平成29年度流山市一般会計歳入歳出予算額は、前年度と比較して1億３５００万円の増額となっています。

歳入面では市税収入がつくばエクスプレス沿線整備による人口の増加が見込まれることなどにより、対前年度比10億５千万円の増となっており、一般財源確保に大きく貢献したものと考えます。また、国庫支出金については、ほぼ前年度ベースを確保したことについては評価しました。

一方、歳出面では子育てと教育環境の充実を目指し、夏休み期間中の学校開放による子どもの居場所づくり試行事業や、高齢社会に対応した高齢者趣味の家施設整備事業などの新事業は、市民の立場にたった必要な予算の計上といえます。

しかしながら財政調整積立基金は、災害や緊急事態発生時への対応などに必要な流山市の貯金と認識しており、執行段階において経費の削減に努めることで、基金の取り崩しを最小限にするよう求め賛成とします。

賛成　自由民主党

歳入においては、人口誘致の結果、市民税は対前年度比４・２％の増収見込み、特に法人市民税は黒字の会社の増加見込みにより、７・８％増加見込み。決算時にさらなる増収を期待する。しかし、人口急増により、子育て関連事業に予算が多く配分されたことで既存地域の福祉施設等の改修が未整備となっていることは市民に説明も必要である。また、マンモス校となる、学校の児童への影響を最小限に止める方策の研究は必要である。

平成29年度は、平成32年度から始まる、新総合計画に向けて準備の始まりの年とし、事業の必要性を調査研究する役割を、新しく設置する仕事カイゼン係には目に見えるような成果を期待する。さらに、職員不足を指定管理者や受託業者、臨時職員の働きに頼っていることも考慮し、安く費用を抑える事ばかりに注目せず、そこで働く市民の幸福実現にも配慮が必要である。会派から提出の10項目の指摘要望の着実な実行を要望し賛成とする。

平成27年度決算審査での議会からの主な指摘要望事項と現在の取り組み状況

指摘要望事項	現在の取り組み状況
クリーンセンターごみ焼却施設の長寿命化を図るために検査項目を見直すとともに、ごみの分別に関して、更なる徹底を図られたい。	毎年法定点検や整備を実施し、適正に施設を維持管理しています。また、平成29年度から２年間で次期一般廃棄物処理基本計画を策定し、予防保全や長寿命化策を検討します。さらに、循環型社会の形成のため、今年度末までに、ごみの出し方・分け方のパンフレットを改訂し、全戸配布します。
子どもたちの教育環境を快適にするために、おおたかの森小中学校に対してのエアコン整備及び既存校の老朽化対策を速やかに進められたい。	おおたかの森小中学校の児童生徒の快適な教育環境を整えるために、空調設備設置工事設計業務委託を発注します。既存校の老朽化対策として、流山市学校施設の個別施設計画に基づき、平成29年度に詳細診断を行い、優先度を定めた長寿命化計画を策定し、計画的に学校施設の長寿命化工事を実施していきます。
入学準備金貸付事業については、教育現場及び保護者への更なる周知を図られたい。	11月に各中学校へ制度案内を配布し、進路指導に合わせ、生徒や保護者に周知するように依頼しました。また、12月の校長会で再度周知を依頼するとともに、12月１日号の「広報ながれやま」やホームページに掲載しています。
学童クラブの指定管理者事業について、保育需要の増大が見込まれるが、定員を大幅に上回ることが無いように、計画的な施設整備を行われたい。	平成28年度に流山小学校区に「第２おおぞら学童」を、小山小学校区に「第３・第４おおたかの森ルーム」を整備し、平成29年度から開設を予定しています。平成29年度は、南流山小学校区の児童数増加に対応するため、既存学童施設及び２階校舎部分の改修工事を実施し、平成30年度から２階部分も学童クラブとして供用開始する予定です。また、おおたかの森小学校区の児童数増加に対応するため、新たに学童クラブを整備するための設計業務を行います。
保育士、介護士不足を解消するための更なる本市独自の支援策を早急に検討、実施されたい。	保育士の処遇を改善するための「特例保育士処遇改善事業」と、保育士を確保するための「保育士就労奨励金事業」を平成29年度から新たに実施し、私立保育所の人材確保を支援します。 また、介護士不足の解消に向け、平成28年度から実施している介護職員初任者研修及び実務者研修の研修費用の補助について予算の増額を図りました。さらに新規事業として、中長期的な介護人材確保に向け、市内小中高生を対象に、高齢者疑似体験や車いす体験等を行う「介護キャラバン隊」出前教室を実施します。
男女共同参画社会づくり事業については、男女が平等に扱われていると思う市民の割合が目標値に近づくように努力されたい。	まちづくり達成度アンケートにおいて「男女が平等に扱われていると思う」と回答された方の内訳を分析したところ、女性の割合が低いことから、女性を対象とした各種講座の充実化を進め、女性がいきいきと活躍するためのスキル習得を図っていきます。また、平成29年度から、女性が抱える様々な問題に対応できるように、専門相談員による「女性の生き方相談業務」を毎月３回実施し、女性の活躍を側方から支援します。

※予算の詳細は『広報ながれやま』平成29年４月１日号（平成29年度事業特集号）をご覧ください。